

授業概要

近年、保育を利用する3歳未満の子どもたちの割合が増えている。乳児（0歳児・1歳児・2歳児）は、特に環境や大人とのかかわりの中で成長していくため、その特性を理解し、適切にその育ちを支えることが大切である。現代の乳児の生活について理解し、一人ひとりの子どもに寄り添った保育を行うための基礎を養う。3歳未満児の育ちや生活についての基本的知識と、乳児保育の歴史、保育内容や保育方法について講義する。

授業計画

第1回	オリエンテーション 乳児保育の目的と役割
第2回	乳児保育の歴史
第3回	乳児保育の現状と課題
第4回	0・1・2歳児の発達① 身体の発達
第5回	0・1・2歳児の発達② こころの発達 アタッチメント
第6回	0・1・2歳児の発達③ 言葉・社会性の発達
第7回	保育所保育指針における乳児保育のポイント
第8回	乳児保育における保育者 保育者の関わり方の基本、複数担任制
第9回	乳児の生活の基本① 食事・睡眠・排泄
第10回	乳児の生活の基本② 着脱・清潔
第11回	乳児の健康と安全
第12回	乳児の遊びと環境構成
第13回	保育施設での乳児の1日の流れ・計画
第14回	現代社会における乳児の生活 育児用品や育児文化
第15回	保護者との連携 子育て支援

到達目標

- ・乳児保育（0・1・2歳児の保育）の歴史、現状や課題を理解することができる。
- ・乳児の育ちと発達の過程を説明することができる。
- ・乳児の生活を支える保育方法やその計画を理解し、構想することができる。
- ・乳児の家庭での生活について学び、保護者との連携について理解することができる。

履修上の注意

- ・授業では、適宜、視聴覚教材を使用したりグループワークを実施したりすることで、体系的に学んでいく。
- ・積極的に授業に参加すること。教科書や資料を常に持参すること。

予習・復習

- ・予習：教科書の該当テーマに関連するページを通読し、疑問点やコメントを記す。わからない単語や概念については文献やインターネット等で確認しておく。
- ・復習：ノートや資料を読み直し、学んだ点と疑問点をまとめることで理解を深める。

評価方法

- ・受講態度（20%）、課題への取り組み（30%）、試験（50%）で評価を行い、総合評価51点以上を合格点とする。

テキスト

- ・教科書名：はじめて学ぶ乳児保育
著者名：志村聡子編著、塩崎美穂・藤枝充子・渡邊美智子・坂田知子・柳井郁子・小柳康子・宇都弘美著
出版社名：同文書院
出版年（ISBN）：2022年（978-4-8103-1515-8）
参考文献：保育所保育指針解説書・幼稚園教育要領解説書